

食育推進のための仕組みづくり

食育に関する取り組みの実効性を高めるためには、食にかかわる様々な関係者が、その役割と特性を活かしつつ、互いが連携、協力して事業展開していくことが重要です。

家庭の役割

家庭は、食の大切さを学び、食育を実践する最も基本となる場所です。食の楽しさや感謝の心を伝えていくことが大切です。また、自分でできることはすすんで行いましょう。

- ① 規則正しい生活のリズムや食に対する感謝の気持ちを育てます。
- ② 家族で楽しみながら望ましい食習慣や知識を身に付けます。
- ③ 食に関心をもち、自ら進んで野菜づくりや料理づくりを楽しみます。

保育園・幼稚園・学校の役割

子どもの健全な育成に重要な役割を果たしている保育園・幼稚園・学校は、集団生活を通して食の楽しさを体得する場として食育の推進を図るうえで重要な役割を担う場所です。

- ① 食育に対する指導体制や指導内容を充実するとともに、園の給食や学校給食を通して望ましい食習慣の形成や食に対する理解を深めます。
- ② 家庭や地域と連携した食育にも取り組みます。

地域の役割

(各種団体・生産者・事業所など)

地域の特色や食文化を生かして食文化の継承や食育体験の場、地域の食生活の改善を図る場、食に関する情報に対して関心を高める場として大切な役割を担います。

- ① 専門的な知識をもつ人や地域で食育活動を実践する団体、農家や食品関連事業所などの協力を得て、食や農業の体験・学習、食文化の伝承、健康づくりに関する取り組みを進めていきます。
- ② 食育推進に関わるボランティア等の人材を育てます。

行政の役割

行政は、学校などと連携して市民の皆さんや地域、関係機関等との協働により総合的食育をすすめ、食育に関する市民の関心を高め、食を通した人づくり、健康づくり、環境づくりを推進する役割を担います。

- ① 食育推進会議を通して食育に関する施策を計画し、家庭、保育園・幼稚園・学校、地域（各種団体・生産者・事業所など）などと連携して、総合的に食育に関する取り組みを推進します。
- ② 積極的な食育推進活動を支援します。

